令 和 5 年 度

事　　業　　報　　告　　書

Ⅰ．令和５年度　事業実績

１　事業実施状況（総括）

昨年５月、新型コロナウイルス感染症が５類となり、社会経済活動や区民生活がコロナ禍前の状況に戻りはじめたことから、世田谷区立保健センター（以下、「区立保健センター」という。）の運営においても、各種事業の定員をコロナ禍前の状況に戻した。その結果、多くの事業がコロナ禍前の実績に回復したほか、コロナ禍での経験を活かし、育児や遠方により事業参加が難しい方でも気軽に参加できるよう運動指導の動画配信や、精神障害の理解促進に向けた講演会では、会場だけでなくオンライン開催を併用するなど手法の多様化に取り組んだ。

また、新たに健康診断の利用に向けた区内企業・大学への働きかけ、医療機関に対しＣＴ・ＭＲＩ等の高度医療機器を活用した各種精密検査利用のアプローチ、がん相談コーナーでのアピアランスケア相談やウイッグの展示・試着の開始のほか、高次脳機能障害者支援者地域研修会を５地域で開催した。

さらに、キャッシュレス決済の導入やインボイス対応等のＤＸによる利用者サービスの向上、「うめとぴあ」全体の認知度アップを目的とした「第１回うめとぴあフェスタ」などの連携事業を施設内の各機関が協働し開催した。財団内では、専門人材の専門性向上に資するため、初の試みとして学会や専門研修会参加者による「専門研修発表会」を開催した。

令和６年１月の「令和６年能登半島地震」では多くの犠牲者と負傷者が出た。大規模災害発生時に「総合プラザ」には、世田谷区（以下、「区」という。）の災対医療衛生部（医療救護本部）が設置され、医療救護活動の拠点として区民の生命と健康を守る重要な役割を担う。財団では「総合プラザ」全体での災害発生時に備えることはもとより、避難生活を送る区民への専門性を活かした支援など、保健医療福祉の全区的拠点としての災害時の財団の役割等に関する区との協議・検討に加え、区主催の共同訓練へも参加した。加えて、発災時の利用者の避難誘導を始め、「総合プラザ」に避難する区民への対応を視野にした「（公財）世田谷区保健センター災害対応マニュアル」の作成に取り組んだ。

最後に、当財団は改めて令和６年度からの指定管理者として承認された。区においても、令和６年度からの「基本計画」や「外郭団体将来ビジョン」、各分野別計画が一斉にスタートする中、当財団には区の外郭団体として、保健医療福祉の全区的拠点における中核的役割を発揮することが期待されている。引き続き、人材の確保・育成及び財団の財務基盤の強化などを推し進め、保健医療福祉施策充実への貢献や地域医療の後方支援などに積極的に取り組んでいく。

２　主な新規・拡充等の取組み

＜新規・拡充事業＞

（１）健康増進・健康教育、健康診断の専門拠点機能の拡充

・健康度測定を活用した障害者施設利用者の健診の試行継続

・健康診断事業利用促進のための企業・大学等への訪問ＰＲ活動（令和５年７月～）

（２）がん検診の質の向上及びがん患者や家族等を支える拠点機能の強化検討

・オンラインによるがん相談の試行継続

・アピアランスケア相談及びウイッグの展示・試着の実施（令和５年１０月）

（３）地域医療の後方支援機能の強化

・高度医療機器（ＭＲＩ、ＣＴ等）を活用した各種精密検査利用の地域医療機関への働きかけ（令和５年１０月～）

・区、地区医師会と地域医療事業推進の協議の場（医療事業運営員会）の再開（令和６年３月～）

（４）障害者相談支援事業の充実

・アウトリーチによる施設への技術支援・地域支援（児童館における出前型発達相談の試行等）の実施回数の増

（５）高次脳機能障害者相談支援の充実

・高次脳機能障害に関する相談・評価・支援及び実施件数の増

・高次脳機能障害者支援者地域研修会の５地域での開催

・失語症者向け意思疎通支援者派遣回数の増

（６）こころの相談機能の充実

・夜間・休日等のこころの電話相談の実施日数増に向けた検討

（７）「うめとぴあ」内他施設との連携

・保健医療福祉の全区的拠点施設の認知度向上に向けた「うめとぴあフェスタ」の開催（令和５年６月）

・「福祉用具展示相談会（令和５年８月）」「うめとぴあ上映会（令和６年１月）」等プラザ内連携事業の実施

＜事業の見直し及び改善等＞

（１）ＤＸ等の推進による効率的な経営の実現

・収納金等のキャッシュレス決済システムの導入（令和５年７月）

・事業システム改善の精査による次年度リース料の大幅削減（令和５年８月～９月）

・インボイス制度への円滑な対応（令和５年１０月）

・ＤＸ等による効率的な財団運営基盤の整備（グループウエア、財務・給与・勤怠管理システムの連動ほか）（令和６年１月～）

（２）次年度の指定管理事務事業の見直し

・胃がん検診車運転業委託（令和６年度分）の仕様見直しによる経費削減

・総合受付・会計業務委託（令和６年度分）の体制強化

＜財団の基盤強化等の取組み＞

（１）コンプライアンスの推進

・個人情報安全管理措置を含む職員セルフチェックの実施（令和５年８月）と、その結果に基づくコンプライアンス研修の開催（令和５年１１月）

・非常勤職員の無期雇用転換を踏まえた有期雇用契約の整備（令和６年２月）

（2）区民サービスの向上

・「利用者満足度調査」による利用者の状況把握と改善の取組み

（3）計画的人材の確保・育成

・経験者採用を踏まえた昇任選考制度の改善（令和５年４月）

・専門職のスキルの向上をめざした外部研修への派遣及び専門学会等の財団内報告会開催による知識・情報等の共有（令和６年２月）

（4）大規模災害発生時への対応

・区の災対医療衛生部（医療救護本部）設置を想定した「総合プラザ」での災害医療に係る訓練及び協議への参画（令和５年１２月）

・利用者の避難誘導や「うめとぴあ」に避難する区民への対応を視野にした「保健センター災害対応マニュアル」の作成（令和６年１月～）

３　令和５年度の決算状況

「経常収益」では大要を占める「管理受託収益」（区からの指定管理料）において、令和５年度より指定管理事業の人件費に係る退職給付積立金等が支払われ、前年度より約３，３８３万円の収入増となった。また、昨年に新型コロナウイルス感染症が５類となり多くの事業実績がコロナ禍前の状況に回復するとともに、受診控えも解消しつつある中、大腸がん検診、子宮がん検診の「検体検査事業収益」や各種精密検査の「保険診療等事業収益」が前年比約６３６万円の増収となった。その結果、経常収益全体では令和４年度比で３，９０３万円余の増収の約１３億２，２５６万円となった。

一方、「経常費用」の事業費においては、人件費が大幅に支出増となった。「給料手当等」においては、財団の経営基盤強化のための人員増による約８１０万円及び定期昇給等の約４８０万円増などに加え、区職員の給与改定に連動した給料月額の引き上げによる約３２２万円増並びに令和５年度期末手当０．１か月分の引き上げ分の約１００万円増を合わせ、前年比約１，９９４万円の支出増となった。

さらに、年３回支給していた賞与について、令和５年度から区に準拠し年度末（３月）の期末手当の支給を廃止したため、「賞与引当金繰入額」の算定期間が２か月分から４か月分に伸びたことなどから、前年比約１，６０７万円の増となり、合わせて約３，６０１万円の増額となった。

加えて、全国的な医療材料費の高騰や事務用品の値上げ、さらに、コロナ禍において縮小していた事業の再開に伴い印刷物等が増えたことにより「消耗品費」は約５９３万円、電気料金の高騰により「光熱水費」は約２４３万円が前年に比べ増額となり、管理費を含む「経常費用」全体では令和４年度比で４，４０７万円余の増の約１３億２，２９２万円となった。

その結果、令和５年度の「当期一般正味財産増減額」はマイナス約３７万円、さらに、収益増に伴う法人税等３６５万円を合わせて、「当期一般正味財産増減額」は約４０２万円の赤字決算となった。

４　公益目的事業

公益１　世田谷区民の健康の保持増進及び福祉の向上を図る事業

（１）区立保健センター維持管理運営　（定款第４条第１号事業）

区立保健センターの指定管理者として、施設運営並びに設備・物品の維持管理を実施した。

（２）がん対策事業　（定款第４条第１号事業）

①　がん検診受付センター

世田谷区の対策型がん検診等の受診を希望する区民の申込みや問合せの総合窓口として、胃がん検診（エックス線・内視鏡）、乳・大腸・子宮・肺・前立腺の各がん検診やＢ型・Ｃ型肝炎ウイルス検診、胃がんリスク（ＡＢＣ）検査の申込受付、及び受診票発券等を行った。

［表１］

年度 / 事業項目	令和5年度 実績	令和4年度 実績	令和3年度 実績
胃がん検診(エックス線)	4,857 件	3,884 件	4,066 件
胃がん検診(内視鏡)	13,668 件	14,215 件	14,202 件
乳がん検診	5,451 件	5,576 件	5,778 件
子宮がん検診	6,402 件	6,702 件	6,689 件
大腸がん検診	8,620 件	7,845 件	8,166 件
肺がん検診	3,411 件	2,683 件	2,705 件
胃がんリスク検査	550 件	333 件	407 件
前立腺がん検診	1,006 件	1,289 件	1,077 件
B型･C型肝炎検診	3,018 件	2,322 件	2,328 件
合　計	46,983 件	44,849 件	45,418 件

② 胃がん検診

エックス線撮影による胃がん検診は、４０歳以上の区民を対象に、保健センター施設内および検診車により行った。内視鏡による胃がん検診は、５０歳以上の区民を対象に、区内の医療機関で行っており、保健センターも指定医療機関の一つとして検診を実施するとともに、「世田谷区胃内視鏡検診運営委員会」の事務局を区と協働で担い、開催案内や議事録作成などの事務を行った。

また、検診の結果により、必要な区民に対しては、精密検査の受診を勧奨した。

［表２］

事業項目＼年度		令和5年度			令和4年度		令和3年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
エックス線検診	回　数	360 回	326 回	90.6%	360 回	339 回	355 回
	受診者数	3,800 人	3,253 人	85.6%	5,000 人	3,105 人	3,175 人
	がん発見数 （最終数）	―	2 人 (―)	―	―	3 人 (4 人)	0 人 (3 人)
内視鏡検診	回　数	45 回	36 回	80.0%	45 回	37 回	35 回
	受診者数	220 人	156 人	70.9%	220 人	169 人	147 人
	がん発見数 （最終数）	―	0 人 (―)	―	―	0 人 (0 人)	0 人 (3 人)

※ 【エックス線検診】は1年に1回、【内視鏡検診】は２年に1回の受診が可能。

※ 【エックス線検診】申込数 4,052 人（受診率　80.3　%）、要精検数 238 人（要精検率　7.3　%）。
【内視鏡検診】　申込数 156 人（受診率 100.0　%）、要精検数１人（要精検率 0.6%）。

※ 令和5年度がん発見数は令和6年3月末日現在の人数である。なお、（最終数）は翌年度末に確定する数を参考までに掲載している。

③ 乳がん検診

世田谷区では４０歳以上の女性区民を対象に、視触診とマンモグラフィ（乳房エックス線撮影）の併用検診を指定医療機関に委託して実施している。保健センターの乳がん検診は、地域の指定医療機関で視触診を受けた後にマンモグラフィを行う方法と、保健センターで視触診とマンモグラフィを同日に行う方法の２つの検診方法により実施している。

［表３］

事業項目＼年度		令和5年度			令和4年度		令和3年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
乳がん検診	回　数	150 回	116 回	77.3%	150 回	149 回	118 回
	ﾏﾝﾓｸﾞﾗﾌｨ	350 人	81 人	23.1%	350 人	106 人	122 人
	視触診・ ﾏﾝﾓｸﾞﾗﾌｨ	1,300 人	1,275 人	98.0%	1,300 人	1,251 人	1,226 人

※ 【乳がん検診】は2年に1回の受診が可能。

※ 【ﾏﾝﾓｸﾞﾗﾌｨ】申込数 82 人（受診率　98.8%）、要精検数 11 人（要精検率 13.6%）。

※ 【視触診・ﾏﾝﾓｸﾞﾗﾌｨ】申込数 1,295 人（受診率 98.5%）、要精検数 191 人（要精検率 15.0%）。

④　がん検診等精度管理

区が対策型検診として実施する５つのがん検診（胃・大腸・肺・乳・子宮）及び胃がんリスク検査と精密検査の記録・集計等を行った。

［表４］

事業項目＼年度		令和5年度 計画	令和5年度 実績	令和5年度 達成率	令和4年度 計画	令和4年度 実績	令和3年度 実績
胃がん検診（医師会･保健 C）	（一次）	8,600 件	9,889 件	115.0%	8,600 件	9,974 件	9,020 件
	（精密）	1,100 件	599 件	54.5%	1,100 件	688 件	319 件
乳がん検診（医師会･保健C）	（一次）	25,000 件	21,077 件	84.3%	25,000 件	21,803 件	22,010 件
	（精密）	1,650 件	1,386 件	84.0%	1,650 件	1,554 件	1,506 件
大腸がん検診（医師会･保健C）	（一次）	50,000 件	46,244 件	92.5%	50,000 件	45,654 件	46,946 件
	（精密）	2,500 件	2,443 件	97.7%	2,500 件	1,699 件	1,923 件
子宮がん検診（医師会実施）	（一次）	40,000 件	38,643 件	96.6%	40,000 件	36,447 件	41,054 件
	（精密）	600 件	569 件	94.8%	600 件	407 件	325 件
肺がん検診（医師会実施）	（一次）	65,000 件	59,211 件	91.1%	65,000 件	55,038 件	56,992 件
	（精密）	1,500 件	1,154 件	76.9%	1,500 件	769 件	987 件
胃がんリスク検査（医師会実施）	（一次）	9,500 件	4,781 件	50.3%	9,500 件	5,633 件	7,151 件
	（精密）	1,500 件	434 件	28.9%	1,500 件	473 件	643 件

※「胃がん検診」「乳がん検診」「大腸がん検診」は、「医師会と保健センター」の合算。

※　一次検診のデータ取得には、検診日から3か月以上の期間を要するため、令和5年度の実績は当該年度中に記録処理を行った数。

⑤　がん相談

「がん情報コーナー」では、がんに関する書籍の閲覧や資料等の情報提供のほか、看護師による一次相談（予約不要）を行った。がんの治療に伴う外見の変化（アピアランス）の支援として、１０月よりウィッグ等の見本を展示した。

「対面相談」では、がん患者や家族の方（区民対象）に対し、専門の看護師による相談を行い、希望者にはオンラインでの相談にも対応した。（予約制／毎月第２・４土曜日）。令和５年度は玉川地域の地域出張型相談を尾山台図書館で実施した。

「電話相談」では、専門の看護師による相談（毎月第１・３木曜日）及びがん体験者等による「ピア相談」を行った（毎月第２・４木曜日）。

「就労相談」では、がん患者が仕事を続ける上で抱える不安等に対して看護師、社会保険労務士による相談を実施した。

［表５］

事業項目＼年度		令和5年度 計画	令和5年度 実績	令和5年度 達成率	令和4年度 計画	令和4年度 実績	令和3年度 実績
がん情報コーナーの運営及び相談	平日９時～17時（年末年始・祝日除く）	平日９時～17時（年末年始・祝日除く）			平日９時～17時（年末年始・祝日除く）		
	相談件数	—	59件	—	—	52件	33件
対面相談 ※2	施設内相談実施回数※1（オンライン相談を含む）	20回	19回	95.0%	23回	22回	21回
	件数（最大受入れ60件）	—	34件	—	—	27件	27件
	地域出張型相談実施回数	2回	2回	100.0%	1回	1回	1回
	相談件数	—	4件	—	—	3件	2件
電話相談	実施回数	48回	46回	95.8%	48回	44回	46回
	相談件数（最大受入件数192件）	—	56件	—	—	31件	47件
就労相談	施設内相談実施回数※1	2回	2回	100.0%	2回	2回	2回
	相談件数（最大受入件数4件）	—	4件	—	—	5件	1件
	地域出張型相談実施回数	3回	3回	100.0%	3回	3回	3回
	相談件数	—	5件	—	—	6件	4件

※1 就労相談の施設内相談は、対面相談の施設内相談と同時実施（再掲）

※2 がん相談の対面相談内容について

・相談の多い部位 ①乳がん65件 ②肺がん13件 ③頭頚がん10件

・アピアランス相談内容 ①助成制度 ②ウイッグ5件 ③補正下着1件

・相談例 ①（50代女性、子宮がん）術後に進行がんが見つかり抗がん剤を実施。経過に不安と悩みで気持ちが落ち込んでいる。

②（80代女性、すい臓がん）抗がん剤の副作用が強く治療を中止。病院の医師に聞きたいことがあっても気軽に聞けないと不満を感じている。

③（60 代女性、乳がん）現在休職中。一ヶ月後に復職予定だが不安。独居で経済面も苦しい。

（３）健康増進事業 （定款第４条第１号事業）

① 健康度測定、運動負荷測定、健康増進指導等による多様な健康づくり

健康の保持及び積極的増進を図るため、１８歳以上の区民を対象に各種検査と医師による指導及び専門職による栄養・運動・休養の総合的な指導を含めた「健康度測定」を実施した。測定項目のうち、呼吸機能検査は令和２～４年度は中止していたが、令和５年５月より再開した。「運動負荷測定」は、望ましい運動強度の目安を示した運動処方による実践指導を行った。「健康増進指導」では、定員基準（一人当り４㎡）を設け、新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底して６２講座・教室を延４４７回開催した。実績は１０，４２０人となり、計画数を上回った。

［表６］

事業項目＼年度			令和5年度 計画	令和5年度 実績	令和5年度 達成率	令和4年度 計画	令和4年度 実績	令和3年度 実績
健康度測定（うち障害者施設の利用者）		回　数	―	85 回	―	―	73 回	69 回
		人　数	1,500 人	717 人（3 施設 37 人）	47.8%	1,500 人	657 人（1施設18人）	576 人
再測定		人数(再掲)	―	16 人	―	―	10 人	9 人
運動負荷測定		回　数	―	31 回	―	―	30 回	24 回
		人　数	150 人	49 人	32.7%	150 人	60 人	47 人
健康増進指導（集団指導）		回　数	―	447 回	―	―	496 回	357 回
		人　数	10,000 人	10,420 人	104.2%	10,000 人	11,887 人	6,917 人
内訳	講座・教室	人　数	9,090 人	9,118 人	100.3%	―	10,454 人	5,987 人
	壮年期健康づくり教室	回　数	50 回	50 回	100.0%	50 回	50 回	41 回
		人　数	850 人	1,210 人	142.3%	―	1,311 人	838 人
	障害者健康づくり講座	回　数	9 回	9 回	100.0%	9 回	9 回	6 回
		人　数	60 人	92 人	153.3%	―	88 人	51 人
健康増進指導（個別相談）		人　数	90 人	40 人	44.4%	90 人	34 人	41 人

※ 健康度測定(二次)受診総数676人のうち、個別の休養指導（こころ・健康管理664人）、栄養指導（食生活改善664人）、運動指導（活動・運動方法664人）を実施した。
※ 運動負荷測定受診者49人のうち、運動処方参加者40人に実践指導を行った。
※ 健康増進指導（集団指導）における指導内容の内訳は以下のとおり。
・トータルな健康づくり　157回(参加数　2，985人)
・心とからだの癒しと元気　20回（参加数　315人）
・食での健康　20回（参加数　311人）
・からだの元気　191回（参加数　5，507人）
191回の内、3回は外部講師を招いて特別教室として以下のテーマで実施した。
「ラテンダンス」、「野口体操」、「肩こり予防・改善講座」
・壮年期健康づくり教室　50回（参加数　1，210人）
・障害者健康づくり講座　9回（参加数　92人）

②　専門職派遣による地域での健康づくり支援

「実地指導」では、地域の健康づくり活動を支援するため、運動指導員を自主活動団体へ派遣した。「地域健康講座」では、奥沢・烏山・北沢の３地区で企業等の協力を得て、講座を開催した。「職場のげんき力アッププログラム」は、健康経営支援の観点から、事業所単位で取り組む健康づくり活動に対して、企業のニーズに合わせたプログラムを提供した。

［表７］

事業項目＼年度		令和5年度 計画	令和5年度 実績	令和5年度 達成率	令和4年度 計画	令和4年度 実績	令和3年度 実績
実地指導	派遣数	1,100回	1,149回	104.5%	1,100回	1,149回	860回
	指導人数	—	13,170人	—	—	12,689人	8,978人
健康づくり支援	回数	100回	78回	78.0%	100回	58回	47回
地域健康出前講座	回数	20回	10回	50.0%	20回	5回	3回
	人数	—	198人	—	—	81人	71人
地域健康講座	回数	12回	12回	100.0%	12回	11回	10回
	人数	—	122人	—	—	39人	67人
職場のげんき力アッププログラム	件数	5社	5社	100.0%	5社	3社	2社

③　健康づくり支援リーダーの養成・活動支援

地域で健康づくり活動を主体的に行う区民団体に対し、体操指導を支援する区民ボランティアリーダーとして、「せたがや元気体操リーダー」の養成と、スキルアップのための研修を実施した。このリーダー事業は、養成から派遣までをＮＰＯ法人「健康フォーラムけやき２１」と協働で運営している。令和５年度は、第１１期初級リーダー養康成講座を開催し、新たに９人が認定された。

［表８］

事業項目＼年度		令和5年度 計画	令和5年度 実績	令和5年度 達成率	令和4年度 計画	令和4年度 実績	令和３年度 実績
リーダー養成	人数	10人	9人	90.0%	—	—	11人
上級リーダー養成	人数	—	—	—	20人	15人	—
研修会&交流会	回数	6回	6回	100.0%	6回	6回	リーダー交流会10回
実技講習会	回数	4回	4回	100.0%	4回	4回	26人
個別実習	人数	30人	30人	100.0%	30人	30人	6回
リーダーによる実地指導	回数	320回	322回	100.6%	320回	308回	195回

※ リーダー養成と上級リーダー養成は、隔年で実施。

④　生活習慣病の重症化予防を推進する取り組み

生活習慣病のリスクがある区民を対象に、区（国保年金課等）と連携し重症化予防対策を展開した。令和５年度も「派遣型集団指導」に加え、電話支援や動画配信など新型コロナ感染症予防対策としての新たな生活様式に合わせた支援を行った。

［表９］

事業項目＼年度			令和5年度			令和4年度		令和3年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
重症化予防対策	派遣型集団指導	回　数	6 回	6 回	100.0%	6 回	6 回	【中止】
	個別指導	人　数	20 人	3 人	15.0%	20 人	9 人	2 人
	電話支援	人　数	20 人	3 人	15.0%	20 人	10 人	6 人
	動画配信	回　数※	200 回	886 回	443.0%	200 回	477 回	―

※　「動画配信」は、重症化予防の対象者が配信を利用した回数。

⑤　障害者の健康支援プログラム

障害者の健康づくりを支援するため、「視覚障害者福祉協会」ほか自主活動団体などへ運動指導員を派遣し、活動支援を行った。

［表 10］

事業項目＼年度		令和5年度			令和4年度		令和3年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
障害者地域支援	回　数	20 回	20 回	100.0%	20 回	19 回	6 回

⑥　健康増進施設を活用した区民の健康づくり支援

事業で活用していない時間帯に、健康増進を目的とする団体に「運動指導室」の貸し出しを行った。

［表 11］

事業項目＼年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
	実績	実績	実績
運動指導室貸出件数	14 件	【中止】	【中止】

（４）－１ 健康教育事業Ⅰ （定款第４条第１号事業／区民の健康づくり）

① 地域の健康づくりの基盤を広げる各種健康イベント

これまで医師会、歯科医師会、薬剤師会との共催で、「健康相談」「歯科衛生講習会」「薬事相談」を実施してきたが、令和４年度までは新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止・縮小となった。令和５年度も一部は引き続き中止や回数を減らしての実施となったが、徐々に開催回数を回復するに至った。

保健センター主催の講演会・講習会では、「心の健康を保つためのセルフケア」（１回）と「坐禅体験講座」（２回）の計３回実施した。

［表 12］

事業項目＼年度		令和5年度			令和4年度		令和3年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
区民のための健康教室（区・医師会と共催）	回数	4回	2回	50.0%	4回	【中止】	【中止】
	人数	—	174人	—	—		
区民のための糖尿病教室（区・医師会と共催）	回数	1回	【中止】		1回		
	人数	—			—		
歯っぴい＆健康フェスタ（区・歯科医師会と共催）	回数	1回			1回		
	人数	—			—		
くすりと健康のつどい（区・薬剤師会と共催）	回数	2回	1回	50.0%	2回	1回	
	人数	—	108人	—	—	95人	
講演会講習会（保健センター主催）	回数	3回	3回	100.0%	3回	3回	3回
	人数	—	117人	—	—	112人	93人

② 健康教育指導

区民の健康づくり支援を目的に、継続的に運動を行う機会を提供するため、「運動コース」及び８種の筋力アップトレーニング機器を用いた「マシントレーニングコース」を、年間を通して開催した。令和５年度は「運動コース」「マシントレーニングコース」ともに、新型コロナ感染症の発生前と同程度の人数まで回復した。

［表 13］

事業項目＼年度		令和5年度			令和4年度		令和3年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
運動コース	回数	400回	392回	98.0%	400回	391回	332回
	人数	—	14,458人	—	—	13,737人	9,201人
マシントレーニングコース	回数	—	1,211回	—	—	1,211回	1,028回
	人数	12,500人	12,815人	102.5%	12,500人	12,459人	9,181人

※ 運動コースは定員40人、マシントレーニングコースは定員12人。

③ 出張指導

区の介護予防事業（筋力アップ教室、地域づくりによる介護予防、普及啓発講座）へ専門職を派遣し、保健センターが開発した「世田谷いきいき体操」を取入れた指導を実施した。その他、世田谷区（職員厚生課）などの団体から健康増進に関する実技指導等の依頼を受け、専門職を派遣する「出張指導」を行った。

また、世田谷区内の高齢者クラブに対して、保健センターが高齢者向けに開発した「スキマ de げんき体操」の運動定着支援を行った。

［表 14］

事業項目＼年度			令和5年度 計画	令和5年度 実績	令和5年度 達成率	令和4年度 計画	令和4年度 実績	令和3年度 実績
出張指導	介護予防筋力アップ教室	回　数	3 教室	3 教室	100.0%	3 教室	3 教室	3 教室
			（参加者数 238 人）		—	—	209 人	192 人
	地域づくりによる介護予防	団体数	8 団体	3 団体	37.5%	3 団体	2 団体	1 団体
	普及啓発講座（はつらつ講座）	地区数	2 地区	2 地区	100.0%	2 地区	2 地区	2 地区
	高齢者団体運動定着支援	団体数	18 団体	5 団体	27.8%	3 団体	2 団体	5 団体
	その他の出張指導	職員派遣延人数	30 人	32 人	106.7%	30 人	20 人	18 人

④ 地域連携、健康づくりグループとの交流

大学をはじめとする区内の学校等の実習受入れや、大学と連携した講習会を開催した。健康づくり活動を２０年継続している自主活動団体について、総合プラザ１階「ふれあいカフェうめとぴあ」内に専用コーナーを設け、活動紹介を行った。

［表 15］

事業項目＼年度	令和5年度 内　容	令和5年度 期　日
実習受入	世田谷区医師会立看護高等専修学校実習受入	令和 5 年 5 月～10 月（延べ 48 日）
	東京農業大学実習受入	令和 5 年 7 月（延べ 10 日）
	武蔵野大学　ヘルスプロモーション実習受入	令和 5 年 9 月～11 月（延べ 6 日）
	昭和大学実習受入	令和 5 年 6 月 14 日、16 日
大学との連携	駒澤大学仏教学部／坐禅講座講師派遣	①　令和 5 年 10 月 12 日 ②　令和 5 年 10 月 14 日
地域健康づくりグループとの交流	長期継続グループの表彰（11団体）	令和 5 年 6 月～7 月

⑤ 特定保健指導事業

世田谷区からの委託を受け、特定保健指導対象者に対し指導を行った。保健センターでの特定保健指導では、対象者に「体成分分析測定」を実施し、より細かな身体状況を把握した上で指導にあたっている。

［表 16］

事業項目＼年度		令和5年度			令和4年度		令和3年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
積極的支援	実人数	30 人	24 人	80.0%	30 人	20 人	16 人
動機づけ支援	実人数	100 人	79 人	79.0%	100 人	72 人	72 人

（４）－２ 健康教育事業Ⅱ （定款第４条第１号事業／広報等による情報提供）

① 健康情報の収集・活用・発信

健康情報の普及・啓発等を目的とした情報発信として、保健センター情報紙「げんき人」、財団ホームページ、エフエム世田谷、世田谷区広報板、世田谷線駅掲示板、チラシ配布など様々な媒体や手法をもちいて区民に情報を提供した。

中でも情報紙「げんき人」は、区内全域の新聞折込み及び区施設等の窓口配布により、情報提供ツールとして重要な役割を果たしている。ホームページは、誰にでもわかりやすく使いやすい構成でスマートフォン表示にも対応し、障害者支援ツールの採用や運動動画、食育メニュー等の外部サイトと繋げることで、健康づくり情報の提供に活用している。

［表 17］

事業項目＼年度		令和5年度			令和4年度		令和3年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
保健センター情報紙「げんき人」の発行	タブロイド判 2P	3 回	3 回	100.0%	3 回	3 回	3 回
	タブロイド判 4P	1 回	1 回		1 回	1 回	1 回

発行年月日	内　　容	規　　格 発行部数
令和 5 年 5 月 15 日 （第114号）	ようこそ。保健センターへ	タブロイド判 4 ページ 170,300 部
令和 5 年 8 月 1 日 （第115号）	地域の健康づくりをサポート！笑顔と元気を届けます	タブロイド判 2 ページ 170,300 部
令和 5 年 10 月 1 日 （第116号）	「がん」になっても自分らしく暮らすために	タブロイド判 2 ページ 170,300 部
令和 6 年 2 月 15 日 （第117号）	健やかに幸せに歳を重ねるために はじめよう！フレイル予防	タブロイド判 2 ページ 170,300 部

また、保健医療福祉の拠点「うめとぴあ」内の各施設等との協力のもと、連携イベントを実施した。６月に開催した「うめとぴあフェスタ」では、保健センターの企画に約 330 名が参加し、健康意識の向上と事業全般を広く区民に知ってもらう機会となった。

［表 18］

事業項目＼年度		令和5年度			令和4年度		令和3年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
うめとぴあ連携イベント	回数	1回	3回	300.0%	1回	【中止】	【中止】

※ 連携イベントの内容

《うめとぴあフェスタ》令和５年６月開催

・保健センター見学ツアー、健康チェック、福祉用具体験、マシントレーニング体験、よろず健康相談

《うめとぴあ上映会》令和６年１月開催

・映画「オレンジ・ランプ」

（住み慣れた地域で安心して暮らし続けるヒントを描く若年性認知症の方の物語）

《うめとぴあツアーウォーク》令和６年２・３月開催

・ツアーウォーク　・健康レシピ試食会

（５）障害者相談支援事業　（定款第４条第２号事業）

①　障害者専門相談

ア　電話・来所相談

障害に関する区民や関係機関からの様々な相談に応じ、適切な支援の検討や助言、障害に関する情報の提供・制度の紹介・関係機関との連絡調整等を行った。

［表 19］

年度／事業項目	令和5年度			令和4年度		令和3年度
	計画	実績	達成率	計画	実績	実績
相談件数	1,300 件	1,576 件	121.2%	1,100 件	1,540 件	1,360 件
	（実人数）1,212 人		—	—	—	—

イ　専門相談・評価・検査

(ア)専門医相談

医療相談、身体障害者手帳診断、補装具意見書作成等を行った。

［表 20］

年度／事業項目	令和5年度			令和4年度		令和3年度
	計画	実績	達成率	計画	実績	実績
相談件数	190 件	172 件	90.5%	190 件	198 件	176 件
	（実人数 166 人）		—	—	—	—

(イ)専門職による面接・評価等

障害による生活上の困りごとに対して、専門職による面接・評価等を実施し、本人・家族・支援者に対する適切な対応方法等について、検討やアドバイスを行った。

［表 21］

年度／事業項目	令和5年度			令和4年度		令和3年度
	計画	実績	達成率	計画	実績	実績
面接･評価等	500 件	439 件	87.8%	400 件	552 件	327 件
	（実人数 301 人）		—	—	—	—

(ウ)知的障害者支援小グループ評価事業「りすた」

集団への適応評価や集団適応に向けた支援方法の検討を行い、適切な支援につなげた。利用者が安定して就労継続支援Ｂ型施設へ通所できるようにするために時間を要したことから、新規の受け入れが困難となることがあった。

［表 22］

年度／事業項目	令和5年度			令和4年度		令和3年度
	計画	実績	達成率	計画	実績	実績
評価人数	12 人	6 人	50.0%	12 人	14 人	3 人
評価実施回数	96 回	165 回	171.9%	96 回	85 回	47 回

(エ)プレステップサポート事業

脳血管障害等による中途障害者を対象として、心身の健康維持増進を目的に健康管理や運動適性、運動種目の適性等について指導助言を行った。

［表 23］

年度 / 事業項目	令和5年度			令和4年度		令和3年度
	計画	実績	達成率	計画	実績	実績
評価人数	12 人	15 人	125.0%	12 人	17 人	9 人
評価実施回数	48 回	59 回	122.9%	48 回	27 回	37 回

(オ)補装具相談・シーティング相談・福祉用具相談・聴覚相談

理学療法士や言語聴覚士等による各種相談を実施した。聴覚相談以外の相談では、必要に応じて訪問対応も行った。

［表 24］

年度 / 事業項目	令和5年度			令和4年度		令和3年度
	計画	実績	達成率	計画	実績	実績
補装具相談	500 件	462 件	92.4%	500 件	430 件	469 件
シーティング相談	180 件	182 件	101.1%	180 件	221 件	175 件
福祉用具相談(日具)	160 件	210 件	131.3%	160 件	268 件	123 件
聴覚相談 (聴力検査含む)	150 件	157 件	104.7%	85 件	123 件	125 件

(カ)住宅改造相談

障害のある方が自宅で安全な生活が送れるよう、区の各総合支所や計画相談事業所からの依頼に基づき理学療法士等が訪問し、住宅改造の相談、評価や助言等を行った。据え置き型の福祉用具の種類が増え、住宅改修工事を行わずとも対応できるケースが増えている。

［表 25］

年度 / 事業項目	令和5年度			令和4年度		令和3年度
	計画	実績	達成率	計画	実績	実績
相談･評価･助言等	100 件	68 件	68.0%	60 件	82 件	73 件

ウ　障害者施設等への技術支援

障害者施設などへ専門職を派遣し、施設職員等に対して支援技術の向上のための助言指導を行った。

［表 26］

年度／事業項目	令和5年度			令和4年度		令和3年度
	計画	実績	達成率	計画	実績	実績
技術支援	350 回	417 回	119.1%	300 回	374 回	349 回

エ　相談会・交流会・ネットワーク・支援者養成

障害のある当事者やその家族に向けた相談会や交流会を開催した。また、区内関係機関等との円滑な連携とネットワーク構築に向け、各種専門職等の連絡会を開催した。支援者養成では、福祉人材育成研修に講師を派遣した。

(ア)相談会

［表 27］

年度／事業項目	令和5年度			令和4年度		令和3年度
	計画	実績	達成率	計画	実績	実績
相談会	10 回	10 回	100.0%	7 回	10 回	6 回
	(参加者数 124 人)		—	—	—	—

(イ)交流会

［表 28］

年度／事業項目	令和5年度			令和4年度		令和3年度
	計画	実績	達成率	計画	実績	実績
情報交流会(視覚)	12 回	12 回	100.0%	12 回	12 回	11 回
	(参加者数 149 人)		—	—	—	—

(ウ)ネットワーク

［表 29］

年度／事業項目	令和 5 年度			令和4年度		令和3年度
	計画	実績	達成率	計画	実績	実績
関係機関との連絡会等	5 回	5 回	100.0%	5 回	5 回	6 回

(エ)支援者養成

［表 30］

年度／事業項目	令和 5 年度			令和4年度		令和3年度
	計画	実績	達成率	計画	実績	実績
講師派遣	8 回	8 回	100.0%	8 回	6 回	7 回

② 乳幼児育成相談

ア 発達・発育に関する評価、助言

乳幼児期の発達・発育に関する相談に対して、評価結果に基づき児童発達支援事業に関する情報提供や適切な支援機関等への繋ぎを行った。集団評価（親子支援グループ）としての子どもの集団活動と並行して、保護者教室を行った。発達・発育の評価後の支援方針の決定に際し、「集団評価」が適当とならない相談が多く、「集団評価」件数が計画数を下回った。

また、評価終了後の保護者の不安に対し、来所・電話による継続相談を実施した。

［表 31］

事業項目＼年度			令和5年度 計画	令和5年度 実績	令和5年度 達成率	令和4年度 計画	令和4年度 実績	令和3年度 実績
相談業務	来所・電話相談		900 件	1,068 件	118.7%	900 件	969 件	884 件
相談業務	インテーク		360 件	338 件	93.9%	360 件	294 件	341 件
専門評価	個別評価	実人数	580 人	494 人	85.2%	580 人	496 人	547 人
専門評価	個別評価	延件数	1,360 件	1,178 件	86.6%	1,500 件	1,106 件	1,229 件
専門評価	集団評価	実人数	55 人	45 人	81.8%	80 人	61 人	67 人
専門評価	集団評価	延件数	450 件	279 件	62.0%	600 件	371 件	401 件
継続相談（電話・来所）			400 件	454 件	113.5%	400 件	323 件	463 件

イ アウトリーチによる地域支援

保育所等へのこれまでの訪問・支援により、施設側の理解が一定程度進み、電話で子どもの特性理解や乳幼児育成環境整備の助言を行うことが可能となったため、訪問には至らなかった。また、「東京リハビリテーションセンター世田谷」内の児童発達支援施設「ぷらみんぽーと」への技術支援が５年となり、その必要性が減少するなどにより、計画数を下回った。

［表 32］

事業項目＼年度	令和5年度 計画	令和5年度 実績	令和5年度 達成率	令和4年度 計画	令和4年度 実績	令和3年度 実績
地域支援	80 回	54 回	67.5%	80 回	69 回	53 回

ウ　関係機関との連携

区内児童発達支援拠点施設、関係機関等との連絡会に参加し、情報共有・意見交換を行った。

［表 33］

事業項目＼年度	令和5年度			令和4年度		令和3年度
	計画	実績	達成率	計画	実績	実績
関係機関との連絡会	40 回	46 回	115.0%	40 回	37 回	46 回

③　高次脳機能障害相談支援

ア　専門相談・評価

高次脳機能に何らかの障害がある、もしくはその疑いのある方を対象に、専門医、作業療法士、言語聴覚士、公認心理師等の専門職が総合的な評価を行い、今後のリハビリテーションや生活改善についての助言や情報提供を行った。「個別相談・評価」では、１人当りの対応回数が増えたため延件数が大幅に増加した。

小グループ評価「コンパス」では、就労に必要なことや補完手段を提案する職業評価プログラム（週３回、おおむね４か月間）を実施した。

［表 34］

事業項目＼年度		令和5年度			令和4年度		令和3年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
個別相談・評価（訪問対応を含む）	実人数	50 人	70 人	140.0%	50 人	53 人	50 人
	延件数	250 件	398 件	159.2%	250 件	491 件	324 件
小グループ評価「コンパス」	実人数	7 人	8 人	114.3%	7 人	7 人	6 人
	延件数	280 件	273 件	97.5%	280 件	192 件	166 件

イ　支援者養成

高次脳機能障害者の支援者を養成するため、「ガイドヘルパー養成講座」、「失語症会話パートナー養成講座」を実施した。

「高次脳機能障害者ガイドヘルパー養成講座」、「失語症会話パートナー養成講座」ともに応募者が募集定員を下回ったことに加え、講座開始後に途中辞退者が出たため達成率が低くなった。また、支援者の支援力向上等を図るため、事例検討を中心とした「高次脳機能障害者地域研修会」を５地域で２回ずつ実施した。

(ア)養成講座・フォローアップ研修

［表 35］

事業項目＼年度		令和5年度 計画	令和5年度 実績	令和5年度 達成率	令和4年度 計画	令和4年度 実績	令和3年度 実績
高次脳機能障害者ガイドヘルパー養成講座	実人数	20 人	13 人	65.0%	20 人	21 人	20 人
	延人数	120 人	78 人	65.0%	120 件	126 件	120 件
失語症会話パートナー養成講座	実人数	12 人	8 人	66.7%	12 人	14 人	6 人
	延人数	60 人	40 人	66.7%	60 件	70 件	31 件
高次脳機能障害者ガイドヘルパー研修会	実施回数	1回	1回	100.0%	1回	1回	1回
	参加人数	—	4 人	—	—	—	—
失語症会話パートナーフォローアップ研修	実施回数	1回	1回	100.0%	1回	1回	1回
	参加人数	—	26 人	—	—	—	—
失語症者向け意思疎通支援者養成講座	実施回数	3回	1回	33.3%	—	—	—
	参加人数	—	10 人	—	—	—	—

(イ)高次脳機能障害者地域研修会

［表 36］

事業項目＼年度	令和5年度 計画	令和5年度 実績	令和5年度 達成率	令和4年度 計画	令和4年度 実績	令和3年度 実績
実施回数	5 回	10 回	200.0%	—	—	—
	(延べ参加者数 255 人)		—	—	—	—

ウ　相談会・講演会

高次脳機能障害に関する区民向けの相談会や当事者・家族向けの講演会は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、会場での定員を減らして行った。

［表 37］

事業項目＼年度		令和5年度 計画	令和5年度 実績	令和5年度 達成率	令和4年度 計画	令和4年度 実績	令和3年度 実績
相談会・講演会等	実施回数	2 回	2 回	100.0%	2 回	2 回	2 回
	参加者数	80 人	27 人	33.8%	80 人	40 人	47 人

※　相談会:12 月 14 日　東京リハビリテーションセンター世田谷内の「地域交流スペース」にて、専門医による相談会を開催した。

※　講演会:10 月 6 日　総合プラザ内の「区民活動支援会議室」にて、子どもの高次脳機能障害に関して専門医による講演会を開催した。

エ　ネットワーク・地域支援

区内関係機関の円滑な連携や高次脳機能障害に関する全区的な課題解決のため、「高次脳機能障害者関係施設連絡会」を開催した。また、障害者施設等に専門職を派遣し、支援者に対して障害特性の理解や環境調整などについて助言を行った。

「失語症サロン」は、失語症会話パートナーや失語症者向け意思疎通支援者の協力のもと、失語症のある方が支援を受けながら会話を楽しむ場を提供した。

［表 38］

事業項目＼年度	令和5年度			令和4年度		令和3年度
	計画	実績	達成率	計画	実績	実績
地域支援・講師派遣・関係機関との連絡会	17 回	16 回	94.1%	16 回	16 回	15 回
失語症サロン（３か所）	24 回	23 回	95.8%	24 回	22 回	21 回

オ　失語症者向け意思疎通支援者派遣事業

失語症者の意思疎通を支援するため、失語症当事者と意思疎通支援者のマッチングを失語症サロンで行い、支援者の派遣を行った。

［表 39］

事業項目＼年度	令和5年度			令和4年度		令和3年度
	計画	実績	達成率	計画	実績	実績
失語症者向け意思疎通支援者派遣事業	24 回	44 回	183.3%	24 回	20 回	15 回
意思疎通者支援研修	3 回	3 回	100.0%	―	―	―

（６）こころの健康支援事業　（定款第４条第１号事業）

①　こころの相談機能

「こころの健康」について気軽に相談できる窓口として、平日夜間と土曜日に電話による「専門相談」と「ピア相談」を実施した。平日（月曜日～木曜日）は１７時～２２時、土曜日は１４時～２０時。相談内容により支援が必要な場合は、区の各総合支所等への引継ぎを行った。

［表 40］

事業項目＼年度		令和5年度			令和4年度		令和3年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
電話相談	平日夜間実施回数	205 回	205 回	100.0%	183 回	183 回	154 回
	土曜日実施回数	52 回	52 回	100.0%	51 回	51 回	51 回
	延べ相談件数	3,300 件	5,177 件※	―	―	3,331 件	2,521 件
ピア相談員養成講座	入門・基礎編	―	―	―	1 回	1 回	―
	応　用　編	5 人	4 人	80.0%	―	―	6 人
こころの健康情報コーナーの運営		平日 9 時～17 時（年末年始・祝日除く）			平日 9 時～17 時（年末年始・祝日除く）		こころの健康情報コーナー設置

※　令和5年度電話相談件数　内訳：専門相談 3,902 件、ピア相談 1,275 件
※　「ピア相談」は相談員になるための養成講座を修了した当事者による相談
※　こころの健康づくりを支える人材育成として、「ピア相談員養成講座」（応用編）を実施した。また、精神障害への理解促進のため、「こころとからだの保健室ポルタ」内の「こころの健康に関する情報コーナー」に書籍やリーフレット等を配架した。
※　ピア相談員養成講座は2年間(1年目入門・基礎編、2年目応用編)

②　こころの健康に関する普及啓発

こころの健康に関する理解促進と知識の普及啓発のため、講演会等を実施した。

［表 41］

事業項目＼年度		令和5年度			令和4年度		令和3年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
講演会・セミナー	実施回数	6 回	6 回	100.0%	6 回	6 回	6 回
		（参加者数 751 人）		―	―	―	―
ここからカフェ		11回	11回	100.0%	―	―	―

※　「講演会」「セミナー」テーマ
・マインドフルネス（オンライン開催）　・住み慣れた街で生き生き暮らす～統合失調症編
・こころを考える 認知行動療法　　・子育ちに活かすコーチング（オンライン開催）
・思春期のこころの成長（オンライン開催）・依存症セミナー

③　人材育成

家庭や地域などで、身近な方の自殺のリスクにつながる悩みに気づき、声をかけ、話を聞き、必要な支援につなげる「ゲートキーパー」を養成する講座をオンラインで実施した。

［表 42］

事業項目＼年度		令和5年度			令和4年度		令和3年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
ゲートキーパー養成講座	実施回数	1回	1回	100.0%	1回	1回	―
		（参加者数 79 人）		―	―	―	―

５　収益事業

収益１　財団規程等に基づく健康診査・検査事業、地域医療を支援する事業、専門技術支援事業

（１）保険診療等による検査事業　（定款第４条第３号事業）

地域医療を支援するため、医療機関からの依頼にもとづき、保険診療による各種精密検査を実施した。また、令和５年５月に新型コロナ感染症が５類に変更になったことから、地域医療機関へのＭＲＩ・ＣＴ活用の訪問営業活動を開始した。

［表 43］

事業項目＼年度			令和5年度			令和4年度		令和3年度
			計画（受入予定数）	実績	達成率	計画（受入予定数）	実績	実績
胃	内視鏡検査	件　数	1,100 件	576 件	52.4%	1,100 件	634 件	665 件
	病理組織検査	件　数	330 件	212 件	64.2%	330 件	164 件	200 件
大腸	内視鏡検査	件　数	200 件	144 件	72.0%	200 件	122 件	141 件
	病理組織検査	件　数	80 件	54 件	67.5%	80 件	49 件	43 件
乳房	一 般 撮 影	件　数	280 件	290 件	103.6%	280 件	305 件	280 件
	スポット撮 影	件　数	25 件	17 件	68.0%	25 件	29 件	56 件
	超音波検査	件　数	280 件	364 件	130.0%	280 件	395 件	387 件
	細胞診検査	件　数	25 件	6 件	24.0%	25 件	3 件	7 件
子宮	細胞診検査	件　数	140 件	142 件	101.4%	140 件	108 件	113 件
	内視鏡検査	件　数	140 件	141 件	100.7%	140 件	107 件	112 件
	病理組織検査	件　数	140 件	141 件	100.7%	140 件	107 件	112 件
ＭＲＩ検査		件　数	1,800 件	1,610 件	89.4%	1,500 件	1,623 件	1,660 件
ＣＴ検査		件　数	1,700 件	1,567 件	92.2%	2,000 件	1,466 件	1,511 件
腹部超音波検査（腹部･甲状腺･頸動脈）		件　数	200 件	173 件	86.5%	200 件	160 件	153 件
心臓	ホルター心電図	件　数	20 件	18 件	90.0%	20 件	12 件	16 件
	超音波検査	件　数	180 件	160 件	88.9%	180 件	149 件	168 件

（２）検体検査事業 （定款第４条第３号事業）

世田谷区からの委託により、子宮がん検診及び大腸がん検診の検体検査事業を実施した。大腸がん検診（便潜血検査）の実績は、地域の医療機関において特定健診・長寿健診と便潜血検査との同時受診が可能となっているため、保健センターでの受診は減少傾向にある。

① 子宮

［表 44］

事業項目＼年度		令和5年度			令和4年度		令和3年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
細胞診検査	頸部件数	40,950 件	34,618 件	84.5%	36,500 件	33,811 件	37,998 件
	体部件数	4,050 件	3,739 件	92.3%	3,500 件	3,737 件	4,045 件
	がん発見数（最終数）	―	6 人（―）	―	―	10 人（15 人）	11 人（16 人）

※ 令和5年度がん発見数は令和6年3月末日現在の人数である。なお、（最終数）は、翌年度末に確定する数を参考として掲載している。
※ 頸部件数には不適正標本1件を含み、このほか再提出として頸部1件の判定を実施した。
※ 頸部 受診人数34,617 人、要精検数924 人（要精検率 2.7%）
体部 受診人数 3,739 人、要精検数 41 人（要精検率 1.1%）

② 大腸

［表 45］

事業項目＼年度		令和5年度			令和4年度		令和3年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
便潜血検査	件 数	5,500 件	5,053 件	91.9%	6,700 件	4,645 件	5,174 件
	がん発見数（最終数）	―	13 人（―）	―	―	4 人（6 人）	9 人（16 人）

※ 令和5年度がん発見数は令和6年3月末日現在の人数である。なお、（最終数）は、翌年度末に確定する数を参考として掲載している。
※ 受診人数 5,052 人、要精検数 378 人（要精検率 7.5%）

（３）料金規程等による事業　（定款第４条第３号事業）

財団料金規程等による事業として、「企業健診・個人健診」、「脳ドック」、「骨密度測定」等を実施した。「企業健診・個人健診」は、営業活動などにより計画数を上回った。また、前年度に引き続き障害者通所施設利用者の健診の試行受入れを行った。「体成分分析測定」については、昨年と同様に壮年期世代の受診が多かった。「体成分分析測定」「骨密度測定」については、計画数を大幅に上回る実績となった。

［表 46］

事業項目＼年度		令和5年度			令和4年度		令和3年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
小中学生心臓精密検査	人数	110 人	104 人	94.5%	100 人	103 人	105 人
小中学生結核検診精密検査	人数	300 人	167 人	55.7%	250 人	217 人	251 人
企業健診・個人健診（うち障害者施設の健診）	人数	2,600 人	2,633 人（84 人）	101.3%	2,500 人	2,308 人（115 人）	2,145 人
脳ドック	人数	180 人	148 人	82.2%	180 人	173 人	155 人
動脈硬化検査	人数	450 人	383 人	85.1%	420 人	484 人	385 人
体成分分析測定	人数	150 人	239 人	159.3%	100 人	215 人	222 人
骨密度測定	人数	300 人	406 人	135.3%	300 人	404 人	308 人

（４）その他の技術提供事業　（定款第４条第３号事業）

①　住宅改修アドバイザー

自宅で安全な日常生活が送れるよう、理学療法士等が高齢者宅を訪問し、住宅改修の助言を行った。

［表 47］

事業項目＼年度		令和5年度			令和4年度		令和3年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
住宅改修アドバイザー派遣	回　数	124 回	112 回	90.3%	125 回	103 回	100 回

②　福祉施設等技術支援

障害のある方が入所や通所している高齢者福祉施設等に専門職員を派遣し、障害特性の理解や介助方法、障害特性に応じた対応方法等について、技術的な助言指導を行った。新型コロナウイルス感染症流行のため、高齢者施設への派遣中止が多く、講師派遣も講座の中止等が発生し、計画を大幅に下回る実績となった。

［表 48］

事業項目＼年度		令和5年度			令和4年度		令和3年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
専門職員派遣	回　数	50 回	24 回	48.0%	50 回	2 回	4 回
講 師 派 遣	回　数	5 回	1 回	20.0%	10 回	6 回	5 回

以上のとおりであるが、令和５年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第３４条第３項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和６年５月

公益財団法人世田谷区保健センター